

2021年10月現在



金子 修一（かねこ しゅういち）
原子力規制庁長官官房緊急事態対策監

2011年東日本大震災以降、一貫して原子力安全に関わる業務に従事し、2019年からは東京電力福島第一原子力発電所の規制業務を担当。原子力規制庁では、原子力防災、職員の人事、検査業務改革などに携わり、本年7月から現職。

通商産業省、経済産業省に在籍中は産業技術の発展、地域経済振興、組織マネジメントを中心に職務経験を有するが、その中で電源地域振興や関西電力美浜発電所の二次系配管破断事故への対応など、原子力関係の業務を手がけたほか、県警察本部への出向などを通じて危機管理業務にも従事した。

大学ではセラミックス工学を専攻・修了し、就職後の米国留学時に地域計画学修士を修了。福島を訪れた際には、酒・肴・甘味を調達し、好みを広げるのが楽しみの一つ。